

第50回全国中学校ハンドボール大会

試合結果・戦評報告

競技日	令和3年8月24日(火)	試合番号	B7	回戦	2回戦
種別	中学生	会場	サイデン化学アリーナ Bコート		

Aチーム			Bチーム		
土浦市立第三中学校			下松市立末武中学校		
得点合計	小計		小計	得点合計	
30	16	前半	11	22	
	14	後半	11		
		第1延長前半			
		第1延長後半			
		第2延長前半			
		第2延長後半			
		7mTC			

戦評

男子2回戦、土浦第三中学校のスローオフで始まる。開始2ターンの攻防は両チーム堅さを見せ、シュートまでいくものの得点につながらない。ゲームは土浦三中5番が速攻のつなぎから先制点をあげ動き出す。前半7分までは両チームともゴールキーパーの好セーブもあり、思うように得点をあげられない。その後、土浦三中はポスト・サイドシュート・速攻に加え7mスローで7点連取し10-3とリズムを作った。なかなか得点できずにいた末武中はタイムアウト後、7番が1対1から得点。それを皮切りに豪快なミドルシュートが決まりだす。土浦三中は、5番の力強い1対1からの4連続得点を中心に応戦する。末武中は、ミドルシュートを中心に4点連取し、得点差を縮めることに成功。16-11と土浦三中のリードで折り返した。前半20分過ぎからは両チームの持ち味が発揮された攻防が見られ、後半に期待がもてる試合となった。

後半の先取点も土浦三中。2番の力強いステップシュートが決まる。後半、末武中は2番・5番のミドルシュートで7得点をあげ、大きな得点源となった。また、ドリブルカットから速攻の得点を決めるなど見どころをつくる。しかし、土浦三中は序盤から速攻・ポストプレー・サイドシュートとバランスの良い攻撃を見せ、どのポジションからも得点を伸ばした。多彩な攻撃とゴールキーパーの堅守により土浦三中は30-22と勝利した。両チームとも自チームの持ち味を發揮し、ゴールキーパーのファインセーブが見られ、締まった好ゲームとなった。

記載者名

綿引恵子